

新発田市教育委員会令和4年2月定例会 会議録

○ 議事日程

令和4年2月1日（火曜日） 午前9時30分 開 会
豊浦庁舎 2階 教育委員会大会議室

日程第1 会議録署名委員の指名について

日程第2 1月定例会会議録の承認について

日程第3 教育長職務報告

日程第4 議事

議第40号 専決処分について

（令和3年度一般会計補正予算（第15号）について

議第41号 新発田市就学援助規則の一部を改正する規則制定について

議第42号 新発田市子ども読書推進計画の策定について

日程第5 その他

○ 会議に付した事件

議事日程に同じ

○ 出席者

工 藤 ひとし 教育長
関 川 直 委員（教育長職務代理者）
桑 原 ヒサ子 委員
笠 原 恭 子 委員
村 川 孝 子 委員

○ 説明のため出席した者

教育次長 鶴 卷 勝 則
教育総務課課長補佐
井 浦 寿 典
教育企画課長 橋 本 隆 志
学校教育課長 小野沢 謙 一
学校教育課教育センター長
森 谷 優 子
文化行政課長 平 山 真
中央図書館長 庭 山 恵
生涯学習課長 井 浦 智 明
青少年健全育成センター所長兼児童センター所長

櫻井悦子

○ 書 記

教育総務課教育総務係長

杉林直樹

○ 議 事

○工藤教育長

それではただいまから、教育委員会令和4年2月定例会を開会いたします。はじめに、日程第1会議録署名委員の指名についてであります。桑原教育委員を指名いたします。よろしくお願いいたします。日程第2前回定例会会議録の承認についてお諮りいたします。既に送付しております会議録につきまして、御質問等ございましたらよろしくお願いいたします。よろしいでしょうか。

なければ承認の方の挙手をお願いいたします。

挙手全員でありますので、前回定例会の会議録は承認されました。

続きまして日程第3教育長職務報告に移ります。職務報告につきましては、既に送付してあります教育長職務報告令和4年1月1日から令和4年1月31日のおり報告いたします。皆様の方から何か御質問等がありましたらお願い致します。よろしいでしょうか。

ないようですので、「教育長職務報告について」報告のおりとしてよろしいでしょうか。

異議なしと認め、「教育長職務報告」は承認されました。

それでは、審議に移ります。はじめに議第40号専決処分の承認につきまして、審議を行います。鶴巻教育次長から説明をお願い致します。

○鶴巻教育次長

おはようございます。それでは、このたび、議第40号専決処分の承認について御説明させていただきます。この内容につきましては、令和3年度新発田市一般会計1月補正予算（第15号）のうち教育委員会所管分についてでございます。昨日行われました1月臨時議会に、議案提出の上程手続きを間に合わせるため、教育長から専決処分という形で処理をさせていただきましたので、改めて今日の教育委員会に承認を得たいということでもあります。内容につきましては、資料の3ページを御覧いただきたいと思っております。はじめに歳出であります。このたびの1月補正につきましては、国の令和3年度補正を活用し、教育委員会が所管いたします教育施設に、新型コロナウイルス感染防止対策を講じ、教育施設から新型コロナウイルス感染によるクラスター等を発生させることのないように更に万全を期したいという考え方から、補正予算の

計上を行ったものでございます。

歳出について、教育総務課所管分から順次説明させていただきます。小学校施設整備事業、中学校施設整備事業につきましては、既に小中学校の職員室等に設置されてありますエアコンが老朽化しているため、改修が必要であるということから新型コロナウイルス感染防止強化のため、エアコンを改修する工事を実施する経費でございます。また、学校給食施設整備事業につきましては、更なる衛生面の改善を図るためトイレの洋式化が進んでいない北調理場のトイレ改修と下処理室にエアコンを設置する工事費を計上いたしております。続いて生涯学習課所管分でございます。青少年宿泊施設管理運営事業、あかたにの家でございます。また豊浦地区公民館管理運営事業、紫雲寺地区公民館・分館維持管理事業、加治川地区公民館・分館維持管理事業、生涯学習センター維持管理事業、豊浦体育センター施設維持管理事業、紫雲寺地区体育館施設維持管理事業、これらの事業につきましては、それぞれの施設が新型コロナウイルス感染防止対策を更に強化するため手指消毒用のアルコールの購入、来館者の体温計測を瞬時に行うサーマルカメラの購入、網戸やトイレの洋式化等を講ずるための費用の補正でございます。

歳入につきましては教育委員会が所管するものではございませんが、財務課が所管いたします新型コロナウイルス感染症対応地方創生臨時国庫交付金を主な財源としてございます。

次に繰越明許費の補正でございます。今ほど御説明いたしました補正予算の教育委員会所管分の10事業のうち、エアコン、網戸、トイレ洋式化など、工事に係る部分につきましては、年度内で事業が終了することができないため、繰越予算といたしましてこの補正予算を計上させていただいております。計上した予算の全額もしくはその一部ということで、工事にかかる部分を繰越とさせていただいております。説明は以上でございます。どうぞよろしく願いいたします。

○工藤教育長

ただいま説明をいただきましたけれども、教育委員の皆様から御質問等ございましたらお願いいたします。よろしいでしょうか。

御質問御意見ないようですので、議第40号専決処分の承認については承認することとしてよろしいでしょうか。

異議なしと認めまして、議第40号を承認することに決しました。

それでは、次に移ります。議第41号新発田市就学援助規則の一部を改正する規則制定について審議を行います。小野沢学校教育課長から説明をお願いいたします。

○小野沢学校教育課長

おはようございます。それでは、議第41号新発田市就学援助規則の一部を改正する規則制定について御説明申し上げます。議案書の方は5ページから10ページになります。まずは、7ページ、別記第1号様式を御覧ください。7ページになります。今回の一部改正は、国、県の方針である事務の簡素化、合理化に伴い、就学援助申請書の同意書欄における同意者の押印廃止であります。続いて9ページ。別

記第2号様式、小学校入学前児童就学援助申請書における同意書欄も同じく、押印廃止となります。この規則につきまして、令和4年4月1日より施行します。説明は以上です。審議のほどよろしくお願いいたします。

○工藤教育長

今ほど説明が終わりました。何か御質問等ございましたらよろしくお願ひいたします。よろしいですか。

御質問御意見ないようですので、議第41号新発田市就学援助規則の一部を改正する規則制定については承認することとしてよろしいでしょうか。

異議なしと認め、議第41号は承認することに決しました。

それでは、次に移ります。議第42号新発田市子ども読書推進計画の策定について審議を行います。庭山中央図書館長から説明をお願いいたします。

○庭山中央図書館長

それでは議第42号「新発田市子ども読書活動推進計画の策定について」、御説明させていただきます。議案は11ページから13ページ及び新発田市子ども読書活動推進計画（案）、議案に係る資料は10ページから20ページでございます。議案に係る資料を使いご説明いたします。はじめに、この度の議案提出に先立ちまして、9月7日の教育委員会懇談会の際には、お時間をいただき、本日お諮りさせていただきます計画にご意見をいただきまして、大変ありがとうございました。その際にいただきましたご意見につきましても、本日提出させていただいております計画に盛り込んでおりますので、後ほど、ご説明申し上げます。それでは、議案に係る資料11ページ（横長の物）、新発田市子ども読書活動推進計画の策定について、を御覧ください。懇談会の際にも御説明させていただいており、重複する点もあるかとは思いますが、あらためまして、計画の策定について、簡潔に御説明申し上げます。

はじめに、左上の「**①**策定の経緯」を御覧ください。平成13年に「子どもの読書活動の推進に関する法律」が策定され、国、県、地方公共団体は「子どもの読書活動の推進に関する基本的な計画」の策定が努力義務とされ、平成14年には国が、平成16年には県がそれぞれ計画を策定しております。新発田市は計画が未策定となっておりますが、令和4年4月策定に向け、現在作業を進めております。

右上の「**②**策定作業」を御覧ください。昨年度から策定作業を進めており、今年度7月に中央図書館案を作成いたしました。その計画を基に8月には庁内関係課や庁外関係機関、また9月には教育委員会懇談会、さらには10月に図書館協議会の皆様からご意見をいただいております。11月には、いただいたご意見を反映させ、教育委員会案を作成し、まちづくり戦略会議を経て12月1日から12月28日まで、パブリックコメントを実施し、市民から意見をいただいております。この案につきまして、本日の教育委員会定例会でお諮りいただき、今年度中の完成を目指しております。

左下の「**③**計画の概要」を御覧ください。私どもが策定を進めております計画案

は子どもの読書活動をより一層推進したい、といった内容であり、計画期間は令和4年度から令和8年度までの5年計画であります。基本方針として「子どもの発達段階に応じた読書活動の推進」「子どもの読書活動推進に向けた環境の整備」「子どもの読書活動を推進する広報・啓発活動の推進」の3つを定めております。また、数値目標として、7つの成果指標を設け、現状値を基に評価・検証を行うこととしております。続きまして、計画内容の詳細につきましては、9月7日の懇談会でご説明させていただきましたので、本日は、その懇談会時の計画に対し、変更した点について、ご説明したいと思います。

12ページを御覧ください。この表は、右側に9月7日の教育委員会懇談会提出時の計画を「旧」として、左側に教育委員会懇談会や図書館協議会、庁内関係各課等の意見を反映させた計画を「新」として新旧対照表として示しております。変更箇所について一つひとつ説明するのは、時間の関係もございますので、割愛させていただき、9月7日の教育委員会懇談会にて、皆さまからいただいた意見をもとに変更いたしました箇所についてのみ御説明させていただきます。

最初に、「1計画策定の趣旨」について、平成31年度の全国学力・学習状況調査の結果が掲載されているが、令和3年度の結果を掲載するのか、という意見を受けまして、「新」では令和3年度の調査結果に変更しております。

次に、15ページを御覧ください。「旧」の方では「2小中学生世代への取組（おおむね6歳から15歳まで）」としておりましたが、小中学校を一緒にするのは長すぎることや小中学校を一括りにするのはどうか、とのご意見を受けまして、「新」では「小学校世代への取組」と「中学生世代への取組」にわけ記載しております。そのため、「旧」の「小中学校世代への取組」に記載のあった中学生に関する表記、例えば「生徒」などの表記を削除しております。なお、学校図書館の機能については、見やすいように箇条書きに修正いたしました。

次に17ページを御覧ください。ここには、先ほどご説明させていただいた「中学生世代への取組」を掲載しております。なお、主な取組で記載しております「**①**家庭での読書の推進」や「**④**図書委員会活動の推進」は「中学生世代への取組」として、新たに掲載したものであり、その他は、「小学生世代への取組」に同様の記載もしくは中学生世代用に内容を変更し、掲載しております。

最後に20ページを御覧ください。「旧」の「2成果指標」の表中、「現状値」欄につきましては、令和3年度の結果が公表されましたので、「新」には令和3年度調査結果を記載し、みやすくするために、目標値を表中にて記載いたしました。説明は以上であります。よろしく願いいたします。

○工藤教育長

今ほど説明が終わりました。何か御質問等ございましたらよろしく願いいたします。よろしいですか。

○桑原教育委員

この新旧対照表を拝見して、教育委員会から出された前向きな意見を取り入れて、改訂されていることがよくわかりました。気になったのは、推進計画12ページの成果指標です。現状値は令和3年度の数値が入っています。この計画は5年計画で、目標値のところに「県平均以上」と記載されています。これを数値目標とみなせる

でしょうか。現状値についても、1番と2番はすでに県平均を上回っていますので、意欲的な目標値とは言えません。高い数値を設定すると5年間で達成できないという心配もあったかもしれません。一方、3番と4番の現状値は、県より低い数値となっていますが、県の計画も5年計画ですので、県が出している数値を少し上回る目標値にしてはどうかと思いますが、いかがでしょうか。

○工藤教育長

庭山中央図書館長お願いします。

○庭山中央図書館長

ありがとうございました。私どもも目標値をどのようにすればよいかと考へ、最終的には県平均以上・以下という表現とさせていただきます。今いただいた意見を参考に具体的な平均値の数値を確認して入れたいと思います。

○桑原教育委員

最新の県の推進計画案で5年先の数値が入っていると思われるので、その数値を参考に新発田市の状況を見極めながら数値を入れてみてはどうでしょうか。

○工藤教育長

関川教育長職務代理者どうぞ

○関川教育長職務代理者

今の意見は賛成です。やはり、県平均以上、以下というような比較は漠然としていると思います。具体的な数値を示す場合は、教育委員会事務局で議論して慎重を要して数値を入れてほしいと思います。

○工藤教育長

村川委員どうぞ

○村川教育委員

この計画は、5年間の計画で最終段階の年度数値をどのようにするか議論しています。この考え方も一つですが、それよりも、1年後とか、半期ごととか短期スパンで評価する方法も、励みややりがい感、達成感が生まれると思います。県の平均の数値の上とかではなく、短期間での評価で、その都度、数値が修正されていくやり方もいいのではないかと感じました。

○工藤教育長

庭山中央図書館長いかがですか。

○庭山中央図書館長

県子ども読書推進計画では、子供の読書活動を推進するため、家庭や地域の実情に応じた取り組みを促進し、平成30年度実施率の5%以上の向上という標記となっており、具体的な数値が入っていない状況であります。県の推進計画も漠然とし

た目標となっております。

○桑原教育委員

今、村川教育委員が言われたように毎年毎年の目標設定にすることも一つの方法であると思います。目標値を入れるやり方はそれぞれあるかと思いますが、県平均以上以下という表記は適当ではないと思います。具体的な目標値を設定するのであれば、県平均数値の上がり下がりを見ながら、令和8年度の数値を入れればよいのではないかと感じます。

○工藤教育長

関川教育長職務代理者どうぞ。

○関川教育長職務代理者

今の桑原教育委員の意見に付け足しすれば、具体的な目標数値を入れたときに、該当年度でその目標数値を超えられないから駄目であるという思いを持つ必要はないと思います。その目標値に向かって教育委員会が一生懸命取り組み、その結果、目標とした数値に満たなかったからといって、読書活動に対する評価がないという判断はしない方がよいと思います。目標数値については、あまり恐れないで大胆に打ち出してもよいと感じます。あまりに誇張した目標数値を出すのではなく、比較的取り組みやすい数値や新発田市で取り組める絶対値で評価する検討をしてみたいかがでしょうか。

○桑原教育委員

新発田市子ども読書推進計画を一読しての要望です。12ページの1番、2番に平日、1日当たり1時間以上読書する児童生徒が小学6年生15.1%、中学3年生14.9%となっていることは、大変良い数値だと思います。子どもたちは、学校の勉強、スポーツ、友人との遊びといろいろな時間を費やすわけですが、それに加えて1時間以上の読書をしている児童・生徒がいることは大変評価できると思います。逆に、3番、4番のパーセンテージを改善してほしいと思います。アンケートの取り方も、時間の区分も30分以上とか区分したらどうかと考えます。3番、4番のパーセンテージが少なくなると、国語力や算数・数学の問題文を理解する力が必ず高まると思います。読書の分野で言えば、小学生は小説、物語や童話などの作品を読んで、想像力を豊かにする方向へ比重が置かれればよいと感じます。中学生、高校生は徐々に専門的な解説書を読むことに親しんでもらいたいです。この計画の中では調べ学習と書かれてありますが、読書はわからないものを調べることではありません。専門書の分野は問いませんが、専門家や研究者がわかりやすく書いている図書と小説を並行して読むことが望ましいと思います。何が大切であるかと言いますと、抽象的な議論ができるようになるからです。専門書の読書に親しんで抽象的な理論に慣れ、年齢が上がるにつれ難しくなる勉強の内容も理解できるようになると思います。専門書を読むおもしろさを体験し、専門書に挑戦する中学生、高校生の数が増えることを望んでいます。図書館の使命は大きいと感じます。図書に親しむ新発田の子どもたちが、読書によって新しい世界を開いてくれることを期待しています。

○工藤教育長

貴重な御意見をいただきまして、ありがとうございます。庭山中央図書館長いかがですか。

○庭山中央図書館長

ありがとうございました。やはり、読書で感性を磨き、表現力を高め、想像力を豊かにして生きれる力を子どもたちが身につけていくことは図書館職員も大切だと考えています。その力が身につくことにより、読解力が高まり学力向上にも繋がります。加えて、想像力が豊かになり、人を思いやる力が育ち、コミュニケーション能力も高まる効果も期待できると感じます。図書館としても、子どもたちに本を好きになってもらう機会を作ることを積極的に取り組んでいきたいと考えています。そのためには、保護者と子どもを対象にした読み聞かせや小学校へ出向いての読み聞かせを継続していきたいと思います。また、図書の展示方法を工夫し、中・高生が興味を持ち楽しみながら専門書に入れる環境づくりも考えていきたいと思っています。参考にさせていただきます。

○工藤教育長

大変貴重な意見交換ができたと思います。目標設定につきましては、御意見を基に考えてみてはいかがでしょうか。

○庭山中央図書館長

目標設定の数字の部分は、調べて変えたいと思います。

○工藤教育長

それではよろしく申し上げます。他に委員の皆様から御意見ございましたらお願いいたします。村川教育委員どうぞ

○村川教育委員

こども読書推進計画ができ、大人が全員で子供に向けて読書の大切さを伝えることは大変価値のあることと思います。私も、まったく読書をしないという子どもをいかに本へ引きつけるかということが大事であると思います。先ほど庭山中央図書館長からいろいろな方法を使い、読書の楽しさを訴えていきたいと話されました。このような二極化を考えたときに、大人がどう子どもたちに声をかけていくかを思うと学校図書館の関りも大きいと感じます。そういう読書に向かない子どもたちは中央図書館にはいかないと思います。そうすると身近にある学校図書館の充実というのは大きな役割を担うこととなります。今回の計画は、中学校、小学校をわけ、読書の充実のための計画がかかれてあります。大変意義あることであると感じました。これまでの事業の進捗状況をみますと、学校に配置されています大人が増えていないと感じます。中央図書館では、日常的に読み聞かせをやってくださる大人がいますが、学校図書館に日常的にいない状況です。学校図書館にも子どもたちの読書を見てくれる大人が増えればいいと思います。学校図書館には、司書教諭が配置されているが、基準があつて1校12学級以上でなければ配置されず、配置された

司書教諭は学級担任や教科担任などの他の業務を担っている状況です。予算書を見ますと司書教諭の他に支援員をつけている学校もありますが、3校を1人の支援員で対応している状況があります。これは、中央図書館の事業ではありませんが学校図書館の充実も図ってみたいと願っています。

○工藤教育長

ありがとうございました。教育委員の皆さんから指摘をいただきました意見を反映し、計画の数値については一任していただければと思います。子ども読書推進計画を中央図書館だけでなく、他の部署と連携し学校図書館の充実にも力を注いでみたいと思いますのでよろしくお願いします。

何か御質問等ございましたらよろしくお願いいたします。よろしいですか。

それでは、議第42号新発田市子ども読書活動推進計画の策定については承認することとしてよろしいでしょうか。

はい、異議なしと認め、議第41号は承認することに決しました。

それではここで、日程第5、その他に移りたいと思います。

皆様から何かございますか。

はい、それではほか事務局の方向かありますか。教育委員の皆様から何かお話がございましたらお願いいたします。それでは次に教育委員会今後の日程について、井浦教育総務課長補佐から説明をお願いいたします。

○井浦教育総務課課長補佐

本日、平田教育総務課長が欠席でございますので、かわりに私から今後の日程について、お伝えさせていただきたいと思います。網掛けの部分が追加されたものでございます。5月10日9時半から定例教育委員会を入れさせていただきました。

また、例年、小・中学校の卒業式に、各教育委員の方から出席をお願いしておりましたが、新型コロナウイルス感染状況があまり芳しくないということで、昨年度同様、卒業式の出席は中止とさせていただきますので、お伝えさせていただきます。以上でございます。

○工藤教育長

よろしくお願います。それでは日程について何か教育委員の皆様から御質問御意見等ございましたらお願いいたします。

○関川教育長職務代理者

成人式について、日程はどのようになっていますか。

○井浦生涯学習課長

成人式につきましては、1月25日に成人へ案内状を発送しました。案内状には、新型コロナウイルス感染の状況を見据えながら、中止、延期場合は事前にお知らせ

する旨を表記しております。今のところ、3月20日に実施する予定で進めております。

○関川教育長職務代理者

今ほど、小・中学校の卒業式の告辞業務が中止となった旨のお話がありましたが、3月2日の3月定例教育委員会は14時からとなっています。午前中に教育委員会をやりますか。

○工藤教育長

井浦教育総務課課長補佐、いかがですか。

○井浦教育総務課長補佐

大変申し訳ありません。教育委員会の日程を午後に入れておりますので、午後にさせていただければと思います。よろしくお願いたします。

○関川教育長職務代理者

わかりました。

○工藤教育長

それでは3月2日の教育委員会3月定例会は14時からということで御確認をお願いいたします。ありがとうございました。それでは他に何か御問等、御意見ありますか。

○桑原教育委員

中学校の修学旅行の関係はどうなっていますか。

○工藤教育長

わかる範囲で小野沢学校教育課長お願いいたします。

○小野沢学校教育課長

中学校の修学旅行については、学校で検討しております。既に今年度ではなくて、来年度に影響した中学校、それから、中止を決めた中学校もあります。また、これから保護者に実施する方向で同意書を取りながら進めていく学校や今後のコロナの感染状況を見て、もう一度判断をするという学校、様々な状況となっています。

○工藤教育長

先を見通せない状況で、学校現場も苦慮しております。教育委員会も随時学校等と相談に乗りながら対応しているところであります。教育委員の皆様には大変御心配おかけしますが、何かお尋ねになりたい点がありましたらいつでも連絡をいただきたいと思います。他にございましたら、事務局の方はよろしいですか。

○関川教育長職務代理者

今日の新聞等でも教員が足りないが大々的に報じられておりました。マンパワーの場合はいくらあっても足りないくらいと感じています。教育費予算の査定で、市財政局の厳しさを私も感じています。やはり、教育現場の状況を財政局に言い続けなければ、教育現場の状況は変わらない気がします。先ほどの学校図書館の事務的な補助の方とか、マンパワーが欲しい状況です。教育現場が少しでも充実するように事務局の方々にお願いしたいと思います。

○工藤教育長

大事な御意見いただきましてありがとうございます。関川職務代理者のおっしゃるとおりです。教育委員会職員も子供たちのため仕事をやっていきたいと思っておりますので、これからも御指導よろしくお願いいたします。ありがとうございました。他によろしいでしょうか。

ないようですので、それでは以上で、教育委員会令和4年2月定例会を閉会いたします。

午前11時10分 閉 会

令和4年2月1日

新発田市教育委員会教育長

委 員